

【WBGT の測定と活動について】

測定場所	校庭	体育館	プール
測定時間	8:30 / 10:30 / 13:00 / 15:00	使用前	使用前
測定者	養護教諭	授業担当者 部活動担当者	授業担当者 部活動担当者

**WBGT 25℃未満
注意**

活動開始前に水分補給・健康観察
意識的に休憩をしながら活動する
運動強度が高い（例：マラソン）と、
WBGT25℃以下でも
熱中症が発生する可能性があるため、
油断はできない

**WBGT 25℃以上 28℃未満
警戒**

活動開始前に水分補給・健康観察
30分ごとに休憩をしながら活動する

**WBGT 28℃以上 31℃未満
厳重警戒**

活動開始前に水分補給・健康観察
15分ごとに休憩をしながら活動する
強度が高い運動は中止し、中等度・低
度の運動*¹にする

*梅雨明けや突然の気温上昇日は熱中症が
発生しやすいため、積極的に軽減または
中止を取り入れる

**WBGT 31℃以上
危険**

その場所での活動は中止
涼しい部屋で活動を行う
室内でも熱中症は発生するため
こまめに水分補給を行う

- 熱中症警戒情報が発令された場合も各測定場所の測定値に従って活動の可否を決定する
ただし、熱中症警戒情報が発令されているときは、いつも以上に丁寧な健康観察とこまめな水分補給を行い、慎重に活動を検討する
- 熱中症特別警戒情報が発令された場合は、各測定場所の測定値に関わらず、活動中止とし、冷房がついている教室で活動する
- 養護教諭が測定（校庭）した結果が、WBGT31℃以上「危険」だった場合、朝会や放送で全体周知する
授業担当者や部活動担当者が測定（体育館/プール使用前）した結果は、各ブロックで周知し、上の表に従って活動内容を検討する
- 散歩や奉仕活動など一時的に校外へ出る授業は、校庭の測定値を基準として活動の可否を決定する
- 各測定場所に設置された記録用紙に必ず記録をしてから活動を開始する

*¹運動強度 「生活活動のメッツ表：厚生労働省」参考

